

照査特別委員会を立ち上げ

外部から専門家（建築士）を顧問に招請

駐車場修補協議が新局面を迎えます。

供用が始まった直後に、櫃原市から◇フロアに水溜まりができる。◇集中豪雨時に樋からオーバーフローがある。◇天井の一部にカビが出てきた。などの不具合を指摘された。昨年末より地縁団体内膳町自治会（以下自治会）は、かとう建設（株）、小西設計事務所に対し修補を申し入れるとともに、原因の究明及び今後の対処について回答を求めてまいりました。



補修前は雨が強く降るとフロアに雨水が溜まった(2月18日写す)

照査特別委員会出席者(敬称略)

地縁団体内膳町自治会 (三役)			
堀本文男	下田吉美	上田 剛	
田中眞幸	福井喜房		
照査特別委員会(順不同)			
梅村信嘉	井上吉夫	細川和勇	
武嶋誠二	玉岡伸泰	平岡才治	
丸谷隆久	水谷輝夫	森澤 一	
顧問(順不同・建築士)			
坪岡秀明	辻 裕樹	中本 明	

次世代に引き継ぐ町の大事業が、完成後一年にも満たない間に次々と不具合が出る事を重要視。この際、駐車場建設に関わる一切の事項を、自治会の主導で再検証することと自治会役員、自治委員による合同委員会（五月二十八日）に諮り了承を得ました。

よって、今般「照査特別委員会」を立ち上げるとともに「アドバイザー」として外部より専門家（建築士）を顧問に招請。その第一回目の委員会を六月十三日（月）にすみれホールで開きました。会には顧問三氏と自治会三名が出席。（別掲）自己紹介の後、堀本会長が駐車場建設

▲▲▲（表面からつづく）との質問がありました。この件は現状の対応を別項で掲載しました。

6号議案「役員の改選」

昨年の総会で一部改正された自治会規約（会長任期）の適用時期の解釈を巡り質疑が交わされましたが、場内の支持を受けた堀本文男氏が会長に再任されました。

※追伸※

今年の総会では各議案に活発な質疑が交わされました。年に一度の総会をより実りのあるものにするために、総会資料の事前配布の要望がありました。意見を真摯に受け止め、今後の検討課題とすることになっています。

の経緯と、照査特別委員会立ち上げに至った理由を説明。その後、議場の推薦により同会の委員長に梅村信嘉氏が、副委員長には井上吉夫氏、細川和勇氏の両氏が就任されました。

この日の委員会は、出席者の総意としてまず「不具合の出る原因はどこにあるのか」を目的の原点とすることを確認。そのための第一歩として顧問三氏に竣工図書、設計図書などの建設に関する資料を提示。それを基に建物の検証を依頼しました。委員会はその報告を受けて、今後の協議をどの様に進めていくべきかを検討する予定です。

自分たちの町は自分たちで守る

5/6

内膳町防災会総会



7月2日（土）・96名が参加して避難・炊き出し訓練が行われました

平成二十三年度内膳町防災会総会が四月二十三日（土）午前十時より「すみれ」で行われました。会の冒頭挨拶に立つた上田会長は「昨年を

和やか親睦会 歓談の輪

が行われ、カラオケや昔話に大いに盛り上がりました。廣嶋会長の話

平成二十三年度内膳善寿会総会は三月二十日（日）午前十一時からすみれホール（二階さつきの間）で46名が出席して開催。会に先立ち東日本大震災犠牲者に黙祷を捧げました。

3月20日 善寿会総会・46名が参加

挨拶。その後、議事に入りました。前年度活動報告、同収支決算、二十三年度活動実施計画案、同予算案を承認。役員人事は本年非改選の年ですが、一名が辞退のため交替。他は全役員

研修旅行は『秋』岡山方面へ

例年春（昨年は五月）に実施されていましたが、研修旅行は、総会に諮られた結果、東日本大震災の発生から日も浅く世情が自粛気味であるため、今年度は「秋」に延期されることになりました。

上回る出席（68名）は、防災に対する関心の表れと受け止めています。内膳町防災会が発足して一年三ヵ月。これから皆様のご理解とご協力を得ながら地域を支える組織の充実を目指します」と述べました。

前年度実施された消火器の設置、救命救急講習会、八木地区合同防災訓練等の事業及び会計報告、規約の一部改正（給食給水班の設置）と事業計画案、予算案が審議され承認されました。終了後、奈良県安心安全まちづくり課より「震災に備える」というテーマで話をしていただき、それが命を守る大切さを改めて学習しました。